

南魚沼産“ユーブレナ育ち”の『ぴかまる』、世界最大級のお米コンクールで金賞受賞！
水産・畜産に続き、農業分野でも“ユーブレナ育ち”が始動

株式会社ユーブレナ

株式会社ユーブレナ（本社：東京都港区、代表取締役社長：出雲充）は、農作物で初めてとなる”ユーブレナ育ち”※1製品であるお米『ぴかまる』（生産者：まつえんどん）が、まつえんどんECサイトで発売されたことをお知らせいたします。

本製品は、2025年12月に開催された『第27回「米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」inつくばみらい』において、大型農業法人部門（20ha以上）で最優秀賞である金賞を受賞し、その品質と味わいが高く評価されています。

※1 2025年6月3日リリース「ユーブレナ社、サステナブルアグリテック領域初のブランド『いきものたちにユーブレナ』が誕生」
<https://www.euglena.jp/news/20250603-1/>



農作物初の認定製品『ぴかまる』

■製品詳細

ユーブレナ育ち『ぴかまる』

発売日：2025年12月から販売中

販売場所：まつえんどんECサイト

<https://store.shopping.yahoo.co.jp/5602miwa/a4d4a4aba4.html>

■まつえんどんの『ぴかまる』のこだわりとユーグレナの肥料について

まつえんどんの『ぴかまる』は、米どころ新潟県の南魚沼で、元料理人の若手夫婦が丹精込めて育てたお米です。強い輝きと大きな粒が特徴で、濃密な粘りと柔らかさを兼ね備えた、冷めても美味しく食べられる低アミロース米です。もともと九州で誕生した品種のため、暑さに強い特性を持っています。

こうした特性に加え、まつえんどんのこだわりが『ぴかまる』の美味しさをさらに引き立てています。南魚沼の田園ごとに異なる土質に合わせて、ユーグレナ入り土壤改良剤などの肥料の量を調整し、農薬をなるべく使わず、人力で雑草の除草を行っています。また、玄米黒酢を散布することで稻を健やかに育て、粘りや甘みを増す工夫も行っています。収穫量より品質を重視し、土の状態や品種に応じた品質管理を徹底するなど、持続可能で丁寧な農法が『ぴかまる』の美味しさを支えています。

また、品質へのこだわりは、ユーグレナを活用した土壤改良によって一層高められています。ユーグレナ粉末を土壤に添加する試験では、善玉菌として知られる放線菌数^{※2}やA/F値^{※3}が大幅に増大する結果が得られました。これらの増大は、植物の根が水分や養分を取り込む能力を改善し、収量や品質の向上に寄与することが期待されています。こうした科学的知見と丁寧な農法が融合することで、まつえんどんの『ぴかまる』は唯一無二の美味しさを実現しています。

※2 放線菌：土壤团粒化促進や病原性菌抑制といったはたらきをします

※3 A/F値：放線菌と糸状菌の割合（放線菌/糸状菌）を数値化したもの。土壤分析の指標として広く使用されています

■米・食味分析鑑定コンクール：国際大会について

米・食味鑑定士協会が主催する国内外最大規模のお米の品評会で、2000年に始まり、2008年から国際大会として開催されています。国内外から5,000点以上の出品があり、科学的な分析と専門家による官能審査を組み合わせた厳正な審査を経て、食味に優れた米を選出します。審査は、食味分析計や穀粒判別機による数値評価に加え、炊飯後の香り・粘り・甘みなどを専門家が評価する官能審査で行われ、「お米の食味評価における最高峰の大会」とされています。

このコンクールで金賞を受賞することは、生産者の技術と品質が国内外で認められた証であり、ブランド価値の向上や販路拡大にもつながる名誉ある評価で、全国のトップレベルの生産者が競い合う場となっています。

■『いきものたちにユーグレナ』と”ユーグレナ育ち”について

『いきものたちにユーグレナ』は、微細藻類ユーグレナのもつ豊富な栄養素や生態系へ好影響を与える可能性を活かし、動物や植物の健やかな成長を支える、飼料・肥料ブランドです。

本ブランドを活用して育った農畜水産物は、”ユーグレナ育ち”認証製品として、マークを掲示することができます。本認証は、ユーグレナ由来の資源を活用したサステナブルな一次産業への取り組みを、消費者の皆さんにわかりやすく伝えることを目的としており、生産物ごとに認定番号が付与され、生育段階で使用された飼料や肥料を知ることができる安心のしくみを整えています。

いきものたちに
ユーグレナ
euglena for the earth



<株式会社ユーグレナについて>

2005 年に世界で初めて微細藻類ユーグレナ（和名：ミドリムシ）の食用屋外大量培養技術の確立に成功。基本戦略として位置付けているバイオマスの 5 F (Food, Fine Chemical, Feed, Fertilizer, Fuel) に沿って、ヘルスケア事業、バイオ燃料事業を推進。2022 年にサステナブルアグリテック領域 (Sustainable Agri-Tech : SAT) に本格参入。「人と地球を健康にする」というパーカスのもと、事業成長が社会課題の縮小につながるという「Sustainability First (サステナビリティ・ファースト)」」体現のため、SAT 領域に存在する社会課題縮小を目指し、肥料および飼料の研究開発・販売に取組んでいます。

<https://euglena.jp>